

区民のいのちと健康を守れ！

コロナ第7波での積極的対応求める

コロナ第7波による感染急拡大の中、区議団のもとには、「患者さんが多すぎて時間外対応している。」(クリニック)「要介護者で20ヶ所以上の病院で断られた。」(区民)等深刻な実態が寄せられています。

区民の命・健康を守るための引き続きの取り組みを求め、7月22日に日本共産党世田谷区議団は、「新型コロナウイルス感染症対策に関する緊急申し入れ」を保坂展人世田谷区長に申し入れました。(全文裏面)



写真(左から)保坂区長、江口じゅん子区議、川上耕一地区常任委員

区議団は有症状者へのPCR検査、確定診断が出来る医療体制の早急な構築を要請。江口区議は「現場では発熱外来はパンク状態。発熱者がPCR検査を受けるのに40箇所の医療機関へ連絡しようやく受検できたという声を聞いている。電話回線増とPCR検査・確定診断できる仕組みをぜひお願いしたい。」と求め

ました。区長は「電話回線を増やすことについて保健所に確認する。」「有症状者に抗原定性検査キットを送付した上でオンライン診療を行えないかと考えている。」と応じました。

東京都と連携し、無症状者対象の無料PCR検査受検、抗原定性検査キットが配布される「PCR等検査無償化事業」の実施場所の拡充を求め、特に区有地を活用したPCR検査場の地域偏在の解消を求めました。

区議団はさらに福祉事務所への抗原検査キット不足が起こらないように、また唾液式のPCR検査の導入についても要望しました。

医療従事者、介護職員等に加え、必要とする人が安全・迅速に接種を受けられるよう情報提供、ワクチンの調達・配分を進めることを国に要請すること。について、区長は「エッセンシャルワーカーのワクチン接種については宿題として預かりたい。」と答えました。

世田谷区では連日2000人を超える陽性者が出ており、区民のいのちと健康を守る対策が急務です。区議団は申し入れ等を通じて、引き続き区に積極的対応を求めています。

日本共産党国会議員団

岸田首相にコロナ第7波から国民のいのちをまもる緊急要請を行いました

7月22日、日本共産党国会議員団は「新型コロナウイルス感染症『第7波』から、国民のいのちをまもるための緊急要請」を岸田文雄首相あてに提出しました。

緊急要請では、「新型コロナウイルスはオミクロン株BA.5系統等の変異株への置き換わりの影響もあり、経験のない感染急拡大となっている。発熱外来がパンク状態となり、自主的な抗原検査で陽性となっても受診できず、健康観察も行われない事態が多発している。医療や保健所が崩壊しかねない。国民のいのちを守る対策が急務である。」と述べ、コロナ対策を怠った政府を批判し、「第7波」から国民のいのちを守るために、政府のこれまでの対応の真摯な反省のうえに、医療・検査・保健所等の体制強化に真剣に取り組むことを強く求めています。

新型コロナウイルス感染症『第7波』から、国民のいのちをまもるための緊急要請

- 1 発熱外来の体制、高齢者施設等での頻回検査、無料PCR検査を抜本的に強めること
- 2 医療全体の体制強化、臨時的医療施設・療養施設が機能するよう対策を講ずること
- 3 保健所の抜本的な機能強化を支援すること
- 4 ワクチン接種について、必要とする人への接種が円滑に進むよう対策をとること
- 5 空港検疫を抜本的に強化し、まともな水際対策を行うこと
- 6 なりゆきまかせの対応をあらため、BA.5系統への対策を明確に示すこと

2022年7月22日

世田谷区長 保坂展人 殿

日本共産党世田谷区議団

日本共産党世田谷地区委員会

〈新型コロナ感染症対策に関する緊急申し入れ〉

長期化するコロナ対応で、区長を先頭に全庁が全力でご対応されており、敬意を表します。

第7波の爆発的な感染急拡大が、区民の命・健康と社会生活を脅かしています。

発熱外来のパンク等「医療逼迫」の進行、有症状でもPCR検査を受けられない「検査難民」、ハイリスクな要介護者等でも「救急搬送困難」等々、状況は日々悪化しています。

区議団にも「お泊りデイ利用中の要介護高齢者が発熱。救急要請したが、20数か所の病院から受け入れを断られた。」「発熱し、区の発熱相談センターへ連絡したが全く繋がらなかった。39度の発熱で、2日間で40箇所医療機関に連絡し、ようやくPCR検査を受けられた。」「クリニック外来はパンク。抗原検査キットが無くなりそう、早く追加を。」「訪問介護職員が安全に訪問できるよう、ワクチンとPCR検査を早く確実に受けられるようにして。」等区民・医療従事者・福祉職員の方々からの深刻な実態・相談が寄せられています。

本来コロナ感染から、国民の命と暮らしを守るのが、政治の最たる役割です。

しかし、第7波の大きな要因は、6月からの入国制限と空港検疫の大幅緩和で、諸外国からのBA.5の感染伝播と指摘されており、国のコロナ対策は第7波においても全く不十分です。

日本共産党は政府に、コロナ対策として、①希望者への迅速なワクチン接種②国の責任でPCR検査等大規模検査実施③医療機関・保健所への緊急支援④行動制限実施なら、個人・事業者への十分な補償を求め続けています。

区は昨日、都へ「要望急激な感染拡大への対応」求め、要請書を提出しました。国のコロナ対策の迷走や国・都の役割分担等制約があるなかで、区は、区民の命・健康を守る対策を総合的・先進的に進めてきました。引き続きの積極的対応を求め、以下緊急に申し入れます。

記

1、医療支援等について

・有症状者へのPCR検査・確定診断が出来る、医療体制を早急に構築すること。

→区は第6波の際、上用賀公園において、PCR検査から確定診断まで実施した。医師会や都とも連携する等、区独自の積極的対応を要望する。

・医療機関への経済的支援を拡充すること。

→この間国は、PCR検査の診療報酬やコロナ対応加算を引き下げ・縮小・廃止している。

国へ、医療機関の財政的支援拡充を求めること。補正予算も活用し、区独自の医療機関への補助額増額を行うこと。

・区独自の酸素ステーションを拡充すること。

・都へ、医療・酸素ステーション設置や高齢者等医療支援型施設増設を要望すること。

・都へ、コロナ病床拡充を求めること。都立松沢病院はじめ、独法化した都立・公社病院は、コロナ病床拡充等積極的役割を果たすよう、都へ求めること。

・自宅療養者は今後更なる増加が見込まれ、当事者や医療関係者の意見も取り入れながら、相談・支援の体制強化を行うこと。

・物価高騰及び第7波の更なる対応が迫られている福祉事業所への財政支援強化を行うこと。

2、検査体制について

・区内福祉事業所等に配布している、抗原検査キットの不足が無いよう、確保量を増やすこと。また、唾液式の検査方法も導入し、より簡易に検査できるよう改善すること。

・都と連携し、無症状者対象の無料PCR検査受検、抗原定性検査キットが配布される「PCR等検査無償化事業」の実施場所を拡充すること。特に区有地を活用したPCR検査場は地域偏在があり、5地域に1カ所の設置を行うこと。また、現在は「都民対象」だが、「都内在学・在勤者」も対象とするよう、都へ求めること。

・社会的PCR検査の随時検査チームの更なる増設を行うこと。

3、区民の命を守る砦である、保健所の抜本的強化について

・感染急拡大に保健所業務は逼迫している。全庁からの応援、支所職員の理解を得た保健所業務の集中化また委託拡充等あらゆる方策での体制強化を行うこと。

・予断を許さないコロナ感染症また今後の新興感染症にも対応できるよう、来年度以降も計画的保健師増員を行うこと。

4、ワクチン接種について

・医療従事者、介護職員等に加え、必要とする人が安全・迅速に接種を受けられるよう情報提供、ワクチンの調達・配分を進めることを国に要請すること。

→当初、国が4回目の接種対象者として「医療従事者・高齢者施設等従事者」としたことに、区内福祉職員から、意見・要望が寄せられている。

区内訪問介護職員また障害者事業所職員から、「何故訪問介護職を外すのか」「障害者の方は重症化リスクが高く、接種対象にしてほしい」また保育関係者からは、「当然4回目も区が楽天等活用して、優先接種を可能にしてくれるだろう」等。区も現場からの要望など把握し、国へ、福祉労働者等必要とする方が接種を受けられるよう、要請して頂きたい。

・若・中年層のワクチン3回目接種の促進のため、ワクチンの有効性・安全性について情報発信を行うこと。

5、その他

・国に対し、第7波のもとで新型コロナの感染症法上の位置づけ(2類相当)を変更しないよう求めること。

→区は昨日の都への要望書で、「オミクロン株の特徴を鑑み」、「感染症類型見直しの検討」を要望している。しかし、オミクロン株も高齢者の重症化率・致死率はインフルエンザより高いと指摘されている。また、5類へ変更すると、治療費等患者の自己負担が発生する等問題がある。

・今後国が行動制限を実施する際、休業・縮小を余儀なくされる事業者・個人への補償(持続化給付金再支給等)を行うよう、国へ強く求めること。区としても、直接支援等含め対策を講じること。

・感染対策として換気がきわめて重要であることを事業所等へ周知徹底すること。国へ、事業所の換気施設・資材への財政的支援を行うことを求めること。

・物価高騰で生活困窮層が確実に広がっているなか、コロナ感染急拡大に伴う、自営業・非正規・年金生活者等の方々への仕事や事業の影響が懸念される。広がった困窮層の生活を下支えする、区独自の給付金等緊急対策を講じること。

・来年度からの国民健康保険料の区独自軽減策実施を強く求める。

以上